

第15回 子どもの療養環境 研究会



主催：NPO子ども健康フォーラム
協力：あいち小児保健医療総合センター

子どもの療養環境には、病気をもつ成長発達途上の子どもとその家族への身体的・精神的・社会的な負担を軽減し、楽しく、有意義な生活を送ることが求められています。近年、子どもの療養環境への関心が高まっています。過去14回開催してきました「子どもの療養環境研究会」もこれに大きく寄与しているのではないかと自負しています。今回15回目となる研究会においても、人的・心理的・物理的な面を含めた子どもの療養環境の改善について考える機会になることを期待しています。

口演の皆様方に、子どもの療養環境に関する日頃の取り組みを発表いただく場として活用してもらえるように企画いたしました。保育・医療・看護・遊び・教育・養護・建築・森等様々な分野でご活躍の皆様のご参加をお待ちしております。

特定非営利活動法人子ども健康フォーラム 理事長 長嶋 正實
実行委員長 渡邊 芳夫

日時：平成26年6月29日（日）

会場：あいち小児保健医療総合センター地階大会議室

参加費：NPO子ども健康フォーラム会員：無料 会員以外：一般2,000円、学生1,000円（懇親会、抄録代含）
出席のための事前申込は必要ありません

会場の周辺には、飲食店がありません。会場にはレストラン「リトルバード」がございますが、入院しているお子様のご家族の方などで混雑いたします。つきましては、お弁当を500円で準備させていただきますので、ご希望の方は、6月20日（金）までに下記事務局へTEL、FAX、E-Mailのいずれかでお申し込み下さい。お支払いは当日会場にて受付の際にお支払いいただき、お弁当券を配布します。

研究会終了後、研修室にて懇親会を開催します（17：10～18：00）。懇親会の参加費は無料なので、是非参加下さい。

特定非営利法人子ども健康フォーラム事務局
子どもの療養環境研究会事務局（弁当申し込み先）

〒462-0847 名古屋市北区金城一丁目2番B-907佐藤方
担当：佐藤高子

E-Mail：office@npo-cln.org

TEL：090-6072-1171（佐藤） FAX：052-325-5877

ホームページ：<http://www.npo-cln.org/>

プログラム 受付 9：00～ 9：30

9：30～ 9：40 主催者挨拶 長嶋 正實（NPO法人子ども健康フォーラム理事長）

挨拶 前田 正信（あいち小児保健医療総合センター センター長）

9：40～ 10：40 基調講演「わくわくの一むのその後」 稲村 昇（大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科 副部長）

圓谷 厚子（星総合病院 医療保育専門士）

座長：渡邊 芳夫（あいち小児保健医療総合センター 副センター長）

10：40～ 11：55 一般口演 第1部 座長： 後藤 真千子（大阪府立母子保健総合医療センター HPS）

望月 ます美（静岡済生会総合病院 HPS）

1. 「ああ、そうだったのか…図書館で見つけた出会い」

小澤 敬子、山本 由美子、浅井 洋代、新美 志帆、森 智子、白澤 たづ子、伊藤 郁子
（あいち小児保健医療総合センター）、辻 真弓（清須保健所）、久野 千恵子（知多保健所）

2. 「SMA患者の快、不快反応に対する評価基準を検討する ～ベッドサイドで行える遊びの質を高めるために～」

中山 千佳（愛知県心身障害者コロニー中央病院 医療保育専門士）

堀川 知佐子（看護師）、村上 遙香（看護師）、山口 優子（保育士）

3. 「ぼくもわたしもがんばるもん！ ～キャラクターカート探検隊～」

宮松 藍都（一般社団法人名古屋掖済会病院 看護師）、池田 智子、横山 智一（病棟師長）

小山田 恵、大橋 知美、緑谷 美華（主任看護師）、鶴飼 春奈、荒井 望、服部 愛（看護師）

4. 「市立堺病院 特急“さかい”元気への道」

笠原 健、好井 理世（市立堺病院 看護局）、堀江 篤子、長野 江見子、

長森 恵美、榎田 有里子（病棟保育士）、坂本 孝雄（事務局）、岡村 隆行（小児科）

5. 「明るくなった処置室からのプレゼント ～子どもたちへ、そして看護師へ～」

古川 かほり（春日井市民病院小児病棟 師長）

6. 「学童期患児のための療養改善 ～大きなテーブル設置の効果～」

小室 浩子（桐生厚生総合病院 医療保育専門士）

11：55～ 13：00 昼食・休憩

13：00～ 13：20 子どもの療養環境支援プロジェクト活動調査報告 堀部 篤樹（NPO法人子ども健康フォーラム）

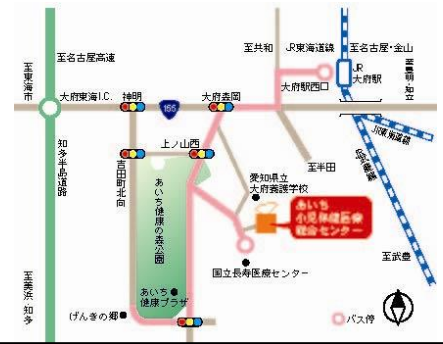
座長：篠原 佳則（NPO法人子ども健康フォーラム 安井建築設計事務所）

会場案内 あいち小児保健医療総合センター地階大会議室

〒474-0031 愛知県大府市森岡町尾坂田1-2
電話 0562-43-0500(代表)

・JR名古屋駅よりJR大府駅まで約12～20分、
JR岡崎駅よりJR大府駅まで約15～20分
JR大府駅西口から知多バスで約10分、
バス停「小児センター」にて下車

・名古屋市の中心部より自動車で約30分、
名古屋高速から知多半島道路経由



13:20～14:35 一般口演 第2部 座長：山田 元子（青い鳥医療センター 保育士）
渡辺 玉子（東京ベイ・浦安市川医療センター 看護師長）

7. 「実践報告 ～夏休み教育入院の取り組み～」

金澤 明子（神奈川病院 療育指導室 保育士）

8. 「わたしはいまからなにをするの？ ～子どもが親しみやすい療養環境をめざして～」

羽土 英恵（石川県立中央病院 看護師 子ども療養支援士）、羽場 美穂（小児専門看護師）
松田 敏恵（小児病棟看護師長）、堀田 成紀（いしかわ総合母子医療センター部長）

9. 「病棟にみんなのプレイルームをつくろう！ ～入院生活における子どもの療養環境改善を目指して～」

高室 佳代（国立国際医療研究センター 看護師）、山田 律子、大熊 香織、佐藤 典子、
松下 竹次（医師）、木村 ひろみ（6階東病棟看護師長）、八城 真理、鏑木 眞喜子（心理士）、
大曲 睦恵（CLS）、柳澤 要（千葉大学大学院工学研究科 教授）

10. 「処置室環境改善への取組み ～ディストラクション効果をあげる処置室をめざして～」

古閑 貴子（熊本労災病院 看護師）、山本 美枝子（小児病棟看護師長）、
和田 千春（小児病棟看護師長補佐）

11. 「ここが、ぼくたち、わたしたちの、ひみつきち ～みんなの秘密基地になるプレイルームを目指して～」

海老名 麻実（東京女子医科大学病院 病棟保育士）、高田 朝友美、木村 麻衣（看護師）、
山田 咲樹子（小児専門看護師）、佐藤 裕子（看護師長）、坂本 倫美（看護部長）、
川野 良子（キャリア開発支援センター長）、日沼 千尋（東京女子医科大学小児看護学教授）

12. 「急性期病院における院内学級 ～市立堺市民病院での試み～」

瀬川 由美、柳 由起子、好井 理世、岡村 隆行（市立堺病院 小児科 看護師）

14:35～14:45 「マニュアル生命子どもの療養環境改善寄付金」「マニュアルわくわくの一むプロジェクト」ご案内

14:45～14:55 休憩

14:55～16:10 一般口演 第3部 座長：中山 千佳（愛知県心身障害者コロニー中央病院 医療保育専門士）
棚瀬 佳見（あいち小児保健医療総合センター HPS 保育士）

13. 「この場所にいたいと思えるような空間を ～学童・思春期の子どもも楽しめるプレイルーム環境づくり～」

仁昌寺 一美（もりおかこども病院 保育士）、久保 崇人（臨床心理士）、
駒沢 直樹（ソーシャルワーカー）、高橋 明雄（副院長）

14. 「夢の森を創ろう！ ～わくわくルーム開設までの歩み～」

渡邊 友里子、竹中 留美（北里大学病院 小児病棟保育士）

15. 「このお部屋いっぱい優しい音色を・・・ ～医療器具の音への恐怖が癒しへと変わる効果～」

庄野 雅子（東京ベイ・浦安市川医療センター 病棟保育士）、渡辺 玉子（看護師長）
小川 千尋（病棟保育士）

16. 「診察室は森の中 牛乳太郎の冒険 ～小児科外来壁面改修の取り組み～」

望月 ます美（静岡済生会総合病院 HPS）、柳澤 要（千葉大学大学院工学研究科 教授）

17. 「愛と温もりを感じ、安心出来るコーナー作り」

加納 淳生（大阪医科大学附属病院 小児病棟・小児外来 小児病棟保育士）
浅井 明美（小児病棟看護師長）、巽 なぎさ（小児科外来看護師）、玉井 宏（小児科教授）

18. 「プレイルームヘレッツゴー ～感染症患児もプレイルームに行こう～」

堀江 篤子、長野 江美子、長森 恵美、榊田 有里子（市立堺病院 保育士）

16:10～17:10 特別講演「親子の共育 ～子どもの育ちと、子育ての中で大切にしたいこと～」 橋本武夫
（社会福祉法人若楠副理事長 若楠児童発達支援センター長）

座長：長嶋 正實（NPO法人子ども健康フォーラム理事長）

17:10 閉会のあいさつ： 渡邊 芳夫（あいち小児保健医療総合センター 副センター長）